日本風力エネルギー学会 2025(令和7)年度 事業計画案
(自：2025(令和7)年4月1日 至：2026(令和8)年3月31日)

1. 総会、代表委員会、理事会の開催

- ・年数回の理事会及び代表委員会、年1回の総会を開催します。

2. 委員会等の開催

- ・年数回の委員会（企画運営、編集、学術事業、国際、広報、表彰、論文）を開催します。
- ・委員会組織/組織名の変更
企画・運営→企画運営、学術・事業→学術事業、国際・広報→国際、広報に分割

3. 学会誌の発刊（第49巻）

- ・学会誌発刊予定
第1号（通巻153号）2025年 5月発刊 900部
第2号（通巻154号）2025年 8月発刊 900部
第3号（通巻155号）2025年 11月発刊 900部
第4号（通巻156号）2026年 2月発刊 900部
- ・論文集の電子ジャーナル化を検討し、読者層の拡大や知識共有の迅速化を目指します。機関誌「風力エネルギー」についても電子ジャーナルの検討を進めます。

4. 第47回風力エネルギー利用シンポジウムの開催

- 主催：日本風力エネルギー学会
協賛：日本風力発電協会、日本分散型風力発電協会（五十音順）
後援：産業技術総合研究所、新エネルギー・産業技術総合開発機構、新エネルギー財団、ターボ機械協会、日本科学技術振興財団、日本風工学会、日本太陽エネルギー学会、日本電機工業会、風力発電推進市町村全国協議会（五十音順）
開催日：11月27日～11月28日
開催場所：ビジョンセンター新橋及びオンライン開催
内容：1日目は省庁からの招待講演、洋上風力に関する招待講演及び学会取組の報告、2日目は一般研究発表（口頭及びポスター）を実施します。また、2日目には若手を対象にしたランチセミナーを実施します。

5. 見学会の実施

- ・本会主催の見学会を1回程度実施（秋開催を予定）する予定です。また若手育成活動と関連した見学会についても検討致します。

6. 技術サポート・研究会の開催

- ・2025年3月に発刊した風力エネルギーハンドブック（第3版）の支援策として、JWEA ホームページにQ&Aのプラットフォームを開設し、運営します。
- ・継続中の各研究会を遂行するほか、新規研究会を発掘します。
- ・その他、学術関連の新規活動を発掘します。

7. 本会に関わる風力関連イベントへの協力

- ・2025年9月17～19日に幕張メッセで開催される第16回国際風力発電展（WIND EXPO [秋] 2025）及び2026年3月17～19日に東京ビッグサイトで開催される第17回国際風力発電展（WIND EXPO [春] 2026）に後援団体として出展します。
- ・2026年1月28～30日に東京ビッグサイトで開催される第20回再生可能エネルギー世界展示会（RE2026）に協賛団体として出展します。
- ・関連イベント

開催日程	開催場所	イベント名	関係	活動	JWEA 役員・委員の参加予定
2025年 5/8	オンライン	WWEA 理事会、副会長選挙	加盟		荒川代表委員が WWEA 副会長に当選
5/20	東京都	日独洋上風力シンポジウム ドイツ連邦経済・気候保護省主催	後援		

6/5	金沢市	第 29 回動力エネルギー技術シンポジウム 日本機械学会主催	協賛		
6/26-27	足利市	第 25 回風力エネルギー利用総合セミナー	後援		未定
7/26-27	東京都	「青少年のための科学の祭典」2025 全国大会	協力	工作	本庄理事
8/6-8	仙台市	第 34 回日本エネルギー学会大会 (8/6 はテクニカルツアー)	協賛		
9/17-19	千葉市	第 16 回国際風力発電展 (WIND EXPO [秋] 2025)	後援	展示	未定
10/15-17	秋田市	世界洋上風力サミット (Global Offshore Wind Summit-Japan 2025)	後援		
11/2	習志野市	第 18 回風力発電コンペ (WINCOM2025)	後援	審査	未定
11/2-3	東京都	2025年度日本太陽エネルギー学会研究発表会	協賛		
12/3-5	汕頭 (中国)	WWEA総会、理事会 WWEC2025	加盟		荒川代表委員
2026 年 1/28-30	東京都	第 20 回再生可能エネルギー世界展示会&フォーラム (RE2026) ・1/19-27 フォーラム ・1/28-30 展示会	協賛	展示	未定
3/17-19	東京都	第 17 回国際風力展示会 (WIND EXPO [春] 2026)	後援	展示	未定

8. 表彰の実施

- ・本会規程に基づき功労賞、学会賞、奨励賞、論文賞、優秀発表賞、ポスター賞等の表彰を実施します。また、本会が後援するイベント等において、日本風力エネルギー学会長井浩記念賞の表彰を行うとともに、文部大臣表彰制度ならびに日本学術振興会における各種表彰制度等への学会推薦者の募集を行います。さらに、新たに設けた優秀修士論文賞の審査、選定にあたります。
- ・令和7年度総会（5月30日）において、以下の表彰を行います。
功 労 賞：なし
特別功労賞：なし
奨 励 賞：澁谷光一郎氏ほか
論 文 賞：武藤嶺奈氏ほか
優秀発表賞：坪井咲季氏、大林和輝氏、宋 云鵬氏、宮野展宏氏、澁谷光一郎氏、大井翔生氏、吉水謙司氏、藤川凜太郎氏、新谷達哉氏、圓尾太朗氏
ポスター賞：林 義之氏ほか(ベストポスター賞)、川端 浩和氏ほか

9. 学会誌、論文集、予稿集を J-STAGE に掲載

- ・学会誌及び論文集、シンポジウム予稿集の電子化と J-STAGE での定期的な公開を通じて、本会のプレゼンスを向上するとともに、会員の記事や論文を広く公開することにより、引用数の増加及び業績評価にも貢献します。

10. 論文集の充実

- ・2025年度は一般投稿のほか、風力エネルギー利用シンポジウムでの座長推薦、論文委員会推薦の論文投稿を依頼することで、15件程度の論文採択を目標とします。
- ・学会論文のオープンアクセス化に対する対応を行います。DOAJ への登録申請に向けた投稿要領の変更を行います。
- ・論文の質向上、査読スピードの向上を行います。

11. 学会設立 50 周年記念行事の検討

- ・学会設立（1977年11月）50周年の記念事業の準備（50周年記念号、日本の風力の50年史、シンポジウム（海外からの招待講演を含む）、祝賀会、表彰、記念グッズ、アーカイブなど）を進めます。

1 2. 事務局体制の整備・機能の向上

- ・項目として、アーカイブ（研究会報告書、シンポジウム動画など）、学会誌の電子化、総会・選挙のオンライン化、規程類の整備・見直し、ホームページの強化・メンテナンスについて検討をおこないます。
- ・考慮すべき点として、知的財産権、アーカイブのアクセス権（会員限定か）を考えております。
- ・具体策としては、以下の通りです。
 - これまでの学会内の活動により収集された会員にとって有益な資料、動画類（例：研究会報告書、シンポジウム講演動画等）を会員向けに提供するためのアーカイブ環境の整備を企画運営委員会とともに検討します。
 - 総会及び選挙のオンライン化について企画運営委員会とともに検討します。
 - 学会誌の電子化を編集委員会とともに検討します。
 - 上記の検討にあたっては、知的財産権やアクセス権について留意します。
 - 規程類の明確化、社会情勢の変化に伴う規程類の見直しや整備を行います。
 - 学会ホームページの機能（アーカイブ提供、ハンドブック Q&A ページ追加等）を強化します。

以 上